館報
大豊

発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷所
高知市本丁筋3丁目
みちや印刷所

村会議員選挙區は四地區制に

―勤評は速やかに実施せよ―

第三十五回定例村議会 1月22日開会

第三十五回定例村議会は一月二十二日開会、提出議案を慎重審議して二十四日午後三時半に閉会した。議決された主要なる議案の内容は次の通りである。

三十二年年度決算額は八千九百二十八万円

昭和三十二年度の才入才出決算額は予算額九五、一二一、〇〇〇円に対し八九、二八〇、〇〇〇円となり昭和三十一年度に引続き実質黒字（繰越額）四、五六三、〇〇〇円、ならびに財政積立金約一、〇〇〇、〇〇〇円を生じ比較的順調に決算を終了した。

吉村監査委員からも、本決算について「予算経理の状態は良好なるものと思料する」旨発表があった。

村有林の経営計画を樹立

村有林の経営計画は村の財政事情、地元住民の林野に対する依存者の実情を充分参酌して森林経営の合理化と林地生産力の増強を図り、その経営を通じて村の財政の向上及び地元住民の福祉の増進を企ることを目標として三十四年四月一日から三十九年三月三十一日迄を実行年度として樹立されたものである。

本計画の当該直営林分は用材林で一一七・二八ヘクタール（磯谷山九八ヘクタールを除く）、薪炭林が一〇・九七ヘクタールで合計一二八・二五ヘクタールとなつている。（村内民有林面積の約三%）

このうち用材林では一令級（五年生未満）が九〇%を占め、適正伐期に属する林分が僅かに〇・二〇ヘクタールに過ぎないので今後の施業方針としては伐採より、造林を第一主義としている。

薪炭林では林種転換造林をすべきであるとされている。また磯谷山九八ヘクタールの管理運営については目下検討中であるが、村の直営林地としての管理運営は困難視されるので、県との分収林になる方向にあるから本計画の施業期間中は除外している。（一ヘクタールは約一町）

元東豊永村隔離病舎敷地を払下げ

落合橋たもとにあった元東豊永村隔離病舎敷地、八一、九〇坪は東豊永農協に木炭倉庫用地として十万円で払下げられた。

西峯中学校の教員住宅三月末迄に建築

西峯校の現教員住宅は同地区に住居すべき教員数に対して不足するので、新に平屋木造スレート葺一棟二九坪（三部屋）のものを、字ワレイシに建築することになつた。

工事の方法は指名競争入札により、大体二月中旬頃着工、三月末完成の予定である。

三千七百万円を追加

更正、予算総額は一億一千八百万円を突破

三十三年度第三回追加更正予算は三七、二四三、二二九円を計上した。これで現総予算額は一一八、四七九、一〇八円となつた。これは磯谷山買売関係で昨年同期に比し二千五百十六万円余の増となつている。

大豊村議会議員の選挙区を四区制に決定

四月に行なわれる大豊村議会議員の選挙区及び議員数について一月二十四日、現行、行政区画の地域を区域として次のように議決、これに伴う村条例を改正した。

才一選挙区	東豊永地区	六名
才二選挙区	西豊永地区	十名
才三選挙区	大杉地区	九名
才四選挙区	天坪地区	三名
	合計	二八名

勤評を速やかに実施せよ

議員提案で決議

議会最終日の二十四日には四議員により勤評実施に関し、次のように提案、万場一致でこれを決議した。

「大豊村教職員に関する勤務成績の評定は高知県教育委員会の計画のもとに、大豊村教育委員会が実施すべきであるにも不拘、教組の反対等の為今日尚未提出の状態にある事は村教育の将来を考慮する時、甚だ遺憾である。

大豊村教育委員会は速やかに[illegible]会本来の使命に立つて[illegible]目的に向つて敢然適[illegible]んことを要望する。」

役場事務機構の改善を計画

新時代に即応し合理化を期するため

課の分掌事務の統廃合―支所事務の縮少等

大豊村役場では、現在の各支所を縮小し、本庁内の事務機構も大巾に改善しようという計画が進められている。

その理由としては

「現行、行政に於ては住民の所得水準向上に関して実施しなければならない幾多の事業が、財政難などのため止むなく見送られている現実とともに、他の諸条件を考え合わすと、行政機構及び組織そのものについて最も合理的な方法を講じなければならない段階に至つている」と考察され、更に「現行の役場機構は外面上、その形態は一応整備されているように見受けられているが、その組織機構は藩政時代の組織観念がそのまま受け継がれ、知らず知らずのうちに、いわゆる「お役所」形態をつくり上げて住民に対する配慮がきわめて少ない実情にあるので、自治運営の合理化に伴い集中管理の原則に基いて」計画されたものである。

改善は二期に分けて実施

計画を一挙に進めることは村民感情及び村財政面からも困難を生じるので二期にわけて行う。即ち才一段階に於ては、行政事務組織並に住民と直接関係のある、いわゆる人を対象とした所も職能化して事務の統合を行い、指令系統の単純化を図る。

第二段階では、第一次改善の実績を検討した結果につき改善する。

窓口事務を集中する

住民の諸基本台帳は現在数ケ所にあるので、住民が一つの用を足す為には幾ケ所も行かなければならない不合理と、分散管理であるため、労力的、経済的負担が加重される事になつているので同一要素を含んだ事務作業は、つとめて一ケ所に集中して、これに専用の事務機械を採用して書記的事務及び作業的事務の合理的な改善をはかる。

この計画により仮定される新な係の事務内容は、次の通りとなる。

（イ）総務課――住民係
①受付案内
②戸籍、住民登録、配給（割当を含む）、消防、外国人登録
③印鑑その他諸証明、住民よりの申請、許可手続
④住民相談、解説
⑤苦情、要望事項その処理
⑥支所、出張所との連絡その外謄写、印刷、発送文書電話等の集中管理。

（ロ）総務課――企画係
村行財政の全般企画ならびに庁内事務管理を行うため新設する。
①統計、事務
②行財政企画全般
③人事、給与、職員研修
④庁内監理その他

（ハ）税務課――諸税係に於て国保実施に伴い国保税の賦課徴収を併せて行う。

（ニ）厚生課――国保健康保険係、国保事務全般（但し特別会計、税の賦課徴集を除く）

支所の機構改善

▼戸籍事務など本庁に吸収
▼人員も減少

合併した当時は役場から遠くなる住民の意向に応じて本庁、住民間に中間機関として支所が設けられたのであるが、これは徒らに組織が二重となり同時に支所の与えられる権能からいつても、これを置くことは、職員配置の合理化、事務能率の見地から云つても適当でないが、これを一挙に廃止する事は困難であるので連絡、通信、施設及び交通機関の発達段階に応じて漸次本庁に統合するものとして差し当り「戸籍」「住民登録」「出納事務の一部」「厚生事務の全部」を本庁に吸収することになる。

従つて改善後の支所における事務内容は「土地、家屋、配給、諸証明を固有の事務とし他は各種連絡事務に任ずる」ことになる。

また職員数も次のようになる。（ ）内は現行。

東豊永支所　三名（五名）
西豊永〃　四名（六名）
天坪〃　二名（四名）

支所縮小に伴う処置

◇公民館活動など強化 ◇税金も農協払込みに

①支所の宿（日）直を廃止する。この為速やかに必要な施設を講ずる。
②農協を通じて村税等の払込みが可能なるよう具体的方途を講ずる（農協との契約）
③住民組織（公民館、部落）活動の強化（なるべく弘報活動の強化。
④電話、放送[illegible]連絡員の[illegible]
⑤その他。

改善計画は概ね以上の通りであるが新規採用[illegible]支所の縮小、職能的分類配置により減員された職員は本計画の目的である村民の福祉行政及び村産業発展施策の推進部面に重点的に指向し後進性を有する本村の行政水準向上を期することにな[illegible]

尚本改善計画は執行部に於て充分なる研究が行なわれた後、早ければ四月に実施の段階となる。

農委、森林組合事務室移転

共済組合が役場小会議室に事務室を移転したのに伴い、森林組合、森林区は大杉農協へ、農業委員会事務局は森林区事務室跡へそれぞれ移転した。

役場職員永年勤続者表彰

三谷村長は一月五日御用初めの日、永年勤続職員二十二名の表彰を行つた。

被表彰者及び勤続年数（三十四年一月一日現在）は次の通り。

小笠原薫光	一一年八ケ月
橋本幸恵	一〇、一
長野政高	一二、八
宮内正章	二〇、〇
小笠原武英	一六、一
長江袈裟尾	一五、二
[illegible]	一二、九
[illegible]	一二、八
岡林政美	一一、七
西村泰登	一一、七
松高豊繁	一一、三
大石種栄	一〇、一一
松岡行雄	一〇、一〇
大石盛男	一〇、九
重森元亀	一〇、九
今井千津子	一〇、九
河野茂樹	一〇、八
大地寿穂	一〇、八
三村利重	一〇、六
西岡鶴美	一〇、四
三浦紀秀	一〇、三
西岡富美子	一〇、〇

賑つた柚ノ木スキー場

降雪に恵まれた本村西峯、柚ノ木スキー場では連日スキヤー達で賑つたが、1月25日には同場で約100人の愛好者を迎えスキー祭も開催した。（写真は同スキー場）

農業講座

水稲と陸稲の早期栽培

大豊農業改良普及所

水稲

早期栽培が有利

四年続きの豊作から五年目の豊作へ更に安定した主食自給体制を確保して農村不況に耐える底力を養うために、秋落地帯や台風害を受ける地帯では、水稲の早期栽培が昨年の研究会員の方々の成績では非常に好結果を出しましたので、本年こそ集団的に是非実施して戴きたいと思います。

これは四月の一日～五日にビニール（ポリエチレン）又は保温紙による温床に播き五月五日前後に田植し八月中下旬に刈取る方法で品種はトワダや藤坂五号を使います。

この場合注意しなければならない点は、

①雀害をさけるため集団して栽培すること。

②播付から刈取りまで従来の中稲作とは異るので慣行稲作技術を入れないこと。特に早期では元肥早効主義で多肥を要しますので秋肥は堆肥化するか、早春に施して澱酵さしてないと害作用をしますし肥効は出ません。

③労力配分に注意し、他の作業とのつりあいを考えてやること。

尚これを実施する希望の部落は早目に当所へ連絡して下さい。希望があれば現地で苗代作りからの講習を実施します。

種子の更新で増収

次に普通稲の問題ですが種子を昔から変えていない方は農協を通じて更新して下さい。三年に一回の更新は必要です。これで一割内外増収すると云う成績が出ております。

未熟の秋肥は根腐れ病のもと

自家配合で安い肥料を

昨年は未熟の秋肥が分けつ期に澱酵して根腐れを起し葉が白から黄に枯れて大変大きな被害を受けましたので早春から田圃に施しておくとこの被害は少くなります。

元肥としては大豊標準配合の一号か三号を、一〇アール（約一反）につき一俵と同二号を八キロ乃至十キロ程度加えて代かきの直前に施せば大体必要な要素が施せます。

尚この配合規準は次の通りですので自家配合で安い肥料を使うことが農家経済に必要と思いますので大いに活用して下さい。

原料の単肥をスコップでていねいに混ぜれば良いわけで、肥料成分を、複合市販肥料等に比較すると配合労賃は問題にならない安い肥料が使える筈です。但し肥料は部落等で共同購入できませんので注意して下さい。しかし自家配合で隣同志が労力を提供し合つて配合することは差支えありません。

◇一号標準（一俵）
尿素六・七Kg。熔燐一七・三Kg。塩化加里六・〇Kg。合計三〇・六Kg（成分比率窒素一〇・三%、燐酸一〇・九%、加里一一・八%）

◇二号標準
硫安一三・二Kg。過燐酸石灰一九・〇Kg。塩化加里五・三Kg。合計三七・五Kg。（成分比率、窒素七・三%、燐酸八・四%、加里八・四%）

◇三号標準
尿素六・七Kg。焼燐九・四Kg。塩化加里六・四Kg。合計二二・五Kg（成分比率、窒素一三・八%、燐酸一四・五%、加里一六・六%）

右の比率の通り、この肥料はいずれも元肥と設計しましたので窒素は少くし燐酸と加里を多くしてあります。他の配合や化成を使う方も、このような配合比率に類似するものを使うとよいと思います。

尚、一号と三号は無流酸根肥料で土を悪くしないように考え、これを中心に使つて戴くわけですが、当地は気温が凉しいため、初期に窒素と燐酸が効きにくいので、二号を二割内外併用していたゞくのが効果的です。

これを標準通りに使つた時は、早期栽培では六月の十五日～二十日に、普通稲では七月の二十五日～末日に、穂肥として一〇アール当り窒素にして一・五Kg、硫安なら八Kg内外、塩化アンモニアなれば六・五Kg内外、尿素なれば三・三Kg内外に、塩化加里四Kg内外をいずれかに混ぜて施して下さい。

尚早期栽培の元肥については二号規準を二～三割増施して下さい。

これらの三要素肥料とは別に、硅酸分補給のため、硅酸石灰又は硅酸苦土石灰を一〇アールに付三～四俵を田植えの一週間以前に施しておくと秋落田では特に効果があり一般田でも相当多収になります。硅カルは一ケ月前に施してから起しておいて差支えありません。

陸稲

早期栽培試作を予定

希望者は早目に申込を

本年から希望者があれば陸稲の早期栽培を試作してみたいと思います。

畑作地帯での主食確保の一つの手段として今後陸稲の早期栽培は主要な問題になると思いますが、やり方は水稲の早期栽培に準じ四月初めに温床苗代に播き六月初めに麦間に移植し成育期を梅雨中にして旱害を防ぎ八月下旬～九月上旬に刈取れば県外の例で一〇アール当り（約一反）五俵程度は樂に上げているようです。これは当村では始めてですので、本年は希望者に限り試作として実施しますが[illegible]子の入手の関係等も[illegible]く申し込んで戴かな[illegible]施出来ないかも知[illegible]が、実施しない方[illegible]試作地をよく観[illegible]て下さい。

高校通学区域漸く解決

四月から高知市内高校へ通学できることになつた

県教育委員会は一月十日の会議に於て、大豊村の高校通学区につき、昭和三十一年度以前の通り高知市内普通高校の区域に重復して含まれることに変更決定された旨、一月十九日付文書で通達があつた。

従来、高知、山田へ入学できていたものを県教委は昭和三十年十二月二十二日に本村教委に対し昭和三十一年度より高知を削り山田のみに変更する旨通達が行なわれていたものである。

その理由として

（1）高知市の人口増加により市内三校（丸の内、追手前、小津）の生徒は累年増加し現在既に三校の収容力を約百五十名オーバーしている。三十一年度は更に百五十名程度の増加が推計される一方山田高校は約二百名程度の余裕をもつている。

（2）大豊村の生徒は大部分が汽車で山田高校前を素通りして高知へ通学している。これは時間、労力、経済から著しく不合理である。

（3）巷間というところの学校差というものは考えられない。高知の三校と山田高校との間に差はない。

以上の三点を挙げている。が本村としては重大なる問題でもあり、またその理由及び取扱いについても納得しかねる点があつたので教委、学校、PTAその他村内各種団体の力を結集してその不当なる処置に厳重抗議する一方、復元について努力を続けて来た結果、県議会前総務委員会（委員長・大川邦昭氏）の取り上げる所となり、その尽力により丸三年ぶりに解決の光を見たものである。

村長、村議、県議、知事、参議院の選挙近し

本村の有権者は一万二千余人

大豊村選挙管理委員会の昭和三十三年九月十五日現在調製による基本選挙人名簿に登録されている本村の有権者数は一万二千七十三人である。その内訳は別表の通りであるが投票告示日迄には補充選挙人名簿が作成されるので本表よりは増加する見込みである。

基本選挙人名簿登録人員数（昭和三十三年九月十五日現在調製）　大豊村

投票区	男	女	計	部落名
第一投票区	八〇八	八五九	一、六六七	大平、大滝、落合、高原、中内、発電所、三津子野、怒田、南大王、川又、八畝、立野、西川、粟生
第二投票区	二八二	二八四	五六六	土居、大畑井、沖、蔭、久生野
第三投票区	一九五	一九七	三九二	野々屋、柚木
第四投票区	一九一	一九七	三八八	東土居、八川
第五投票区	二八〇	二七五	五五五	岩原、三谷、筏木
第六投票区	二七四	三〇〇	五七四	永淵、柳野、大砂子、大久保
第七投票区	五四一	五七〇	一、一一一	西土居、佐賀山、安野々、東梶ケ内、西久保、川戸、連火、下桃原、上桃原
第八投票区	七二三	七四九	一、四七二	上東、中屋、黒石、東庵谷、西庵谷、舟戸、石堂、大田口、西梶ケ内、西寺内、東寺内
第九投票区	七〇	七七	一四七	奥大田
第十投票区	五二五	五五四	一、〇七九	杉、高須、日浦、大王下、檜生
第十一投票区	一五九	一五八	三一七	小川、大王上、枯谷
第十二投票区	二〇三	二一九	四二二	津家、葛原、川口南
第十三投票区	九六	九五	一九一	穴内一ノ一、穴内一ノ二
第十四投票区	三六九	四二四	七九三	穴内二、穴内三、式岩、和田、尾生、目付、磯谷
第十五投票区	二〇〇	二〇一	四〇一	谷、一の瀬、川口
第十六投票区	九三	九五	一八八	三谷
第十七投票区	一〇三	一〇九	二一二	中央
第十八投票区	一五八	一五四	三一二	刈屋、中和
第十九投票区	六四	六〇	一二四	仁尾ケ内
第二十投票区	二二三	二一九	四四二	北川一区、北川二区、久寿軒
第二十一投票区	三四〇	三八〇	七二〇	馬瀬、峰、本村、戸[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

二月十八日に研修会開催を予定

大豊村PTA連合会

大豊村PT
長畑山善郎氏）では
月二十日に協議会を開いた結果、初めての試みである村内PTAの研修会を二月十八日（木曜日）大杉小学校講堂で次の通り開催する事になつた。

研究テーマと意見発表者

①生徒の進学就職問題についてPTAは如何にあるべきか

豊永中学校　先生一名

大杉中学校　父兄一名

司会　久寿軒校先生・母親

②めぐまれない子供に対してPTAは如何にあるべきか

学校　父兄一名

中学校　先生一名

司会　川口校先生・母親

③PTAは道徳教育を如何にすゝめるべきか

天坪小学校　父兄一名

大田口小中学校　父兄一名

司会　穴内中学校先生・母親

以上は各分科会での研究テーマである。

この他に各分科会の発表と全体会がある。

当日の講師は高知県教育委員会社会教育課の吉次課長補佐を予定している。

開催要項は各児童生徒を通じて各家庭に連絡されるが連合会結成以来初の催しでもあり、しかも近来、教育関係に諸問題が起きている今日、互に集つてPTAの今後の正しいあり方を研究する事は極めて大切な事であるので、PTA会員のみならず広く一般父兄も参加されるよう畑山会長は強く望んでいる。

相撲大会など

実施希望事業を打合せ

村体指委員連絡会

社会体育指導委員では一月九日役場で協議会を開催し、昨年の実施事業を反省し乍ら本年度の計画について話し合つた。その中で特に本年は実施したいという希望項目は次の通りである。

◇村長杯ソフトボール大会◇同軟式野球大会。◇民踊講習会。◇登山大会。◇サイクリング。◇三三〇才ソフトボール大会。◇村民運動会。◇大豊村レクリエーション大会。◇相撲大会（小学、中学、青年、消防）◇卓球大会。◇ラジオ体操の普及。◇スクエアーダンス講習会。◇水難防止講習会。◇バドミントン講習会。◇スキー祭（柚ノ木）。

村内[illegible]校

入学児童は年々減少

本年は四〇一人

三十四年度村内小学校の入学児童数が確定した。

教委では、これら新入学児童に対し二月末迄に健康診断を実施したが全般的にみて、健康状態は良好のもようである。

（三十年度以降、各校の入学児童数は別表の通り）

各年度新入学児童数

小学校	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
天坪小学校	41	43	31	18	24
久寿軒小学校	23	22	19	20	8
大杉小学校	79	71	74	62	56
川口小学校	14	11	9	11	14
立川小学校	31	36	28	34	30
仁尾ケ内分校	5	3	2	6	1
穴内小学校	35	45	36	41	35
太田口小学校	81	90	77	72	57
奥大田分校	7	9	2	7	8
西豊永小学校	46	49	55	40	36
佐賀山分校	7	5	8	4	3
大砂子小学校	20	38	31	21	22
岩原小学校	19	28	21	13	21
東豊永小学校	72	63	68	75	53
西峯小学校	36	44	51	30	33
計	516	557	512	454	401

成人式

大杉小学校で挙行

該当者（男、一三五名　女、一四七名）

本年で新に成人となつた村内青年男女を祝い励ます成人式は一月十五日午前十時四〇分より巨杉のもと大杉小学校講堂で挙行された。

本年該当者二八二名（男一三五名、女一四七名）のうち一一六名が出席、国歌斉唱に初まり教育長式辞、村長挨拶、記念品贈呈、来賓祝辞があつたのち、成人代表として大王上、山下久寿喜君が「よき社会人として明るくて豊な村造り平和な国家建設の為努力する」ことを力強く述べ、しあわせの歌合唱、万才三唱をして式を閉じた。

直ちに記念撮影を行つて昼食に入り午後一時から社会教育映画「村の花嫁」及び東映スコープ「素浪人忠弥」を上映して当日の全日程を終了した。

当日募集致しました原稿「新有権者となつて選挙に対する私の考え」は次の方々から応募されました。これは次号の本紙に発表の予定です。大田口　大山静雄、立川　三谷　鎌倉宏亘、磯谷桑名潔、西庵谷　豊永茂生、立川中央　朝比玉恵。

お知らせ

当日撮影しました記念写真及び欠席者に対する記念品は当該部落長の手を経てお送り致しております。

西峯でも

祝賀の行事

西峯公民館では一月十五日成人の日を祝つて同地区青年団、婦人会らと該当者二十人に対する祝賀の行事を同夜七時より公民館で開催した。

集つた関係者は凡そ六十人、三谷館長の挨拶の後、婦人会心尽しによる赤飯、しるこ、果物、お菓子等を会食しながら歓談した。途中から村中央公民館製作による「西峯青年学級の現状」のスライドを上映した後、レクリエーションに移り歌声に、ゲームにダンスに民踊にと成人該当者を中心に、遅くまで、なごやかに青年ら[illegible]ふんいきをもつて成人の日を祝つた。

東寺内、桧生で映画会

寺内新生クラブでは一月三日薬師通夜堂において部落民慰安の映画会を開催し楽しい一夜を過ごした。

檜生部落でも一月十二日衛生教育映画数本と娯楽映画「倖せはおいらの願い」等上映樂しい雰囲気の中で役場衛生主任、保健婦等により衛生に対する認識を深めた。

本村部落上組

旧では新生活で

天坪地区本村部落上組（通称西の川）の十二戸の家庭では、毎年、クリスマスや、新旧正月その他のお祭り事は、新生活運動の趣旨に沿つて、当[illegible]酒肴を持寄り[illegible]を過している[illegible]

従つて各戸をグルグル廻つたりして[illegible]然なく、こ[illegible]で改善もす[illegible]た感じである[illegible]

八川、上東で

敬老会

八川部落は戸数三十四戸でお年寄りが十七名であるが去る十二月二十五日、婦人会、青年団の主催により敬老会を開催、中央公民館のスライド歌入観音経の上映や声の録音等の外婦人会や子供達の余興にお年寄りは大よろこびでなごやかな一日を終了した。

一方上東部落（戸数三十四戸）でも十四名のお年寄りを慰安するため婦人会、青年団が事業を行い資金を獲得して一月二日敬老会を開き映画「名犬物語」「ニュース」その他を上映して明治以来幾多苦難の道を歩んで来た老人達に感謝のまことをさゝげた。

軍人墓地（安野々）に忠霊塔建設

西豊永地区の軍人墓地（安野々）に忠霊塔を建設する計画が今進められている。これは地元の忠霊塔建設委員会（委員長・山中栄氏）が前々から運動していたものであるが、この程村費五十万円獲得の見込みがつき、地元負担額五十万円を加えて、三十四年度予算が付き次第、着工することになつている。

永年勤続で本山茂義氏表彰

村内部落長会（八五名）は八二名が出席して一月三十日役場会議室で開催、午前中は部落長からの要望事項と、それに対する村からの答辯があつた。

午後は永年部落長勤続者として一の瀬部落長本山茂義氏（十年七ケ月勤続）が村長より表彰され記念品をおくられた。その後、村よりの連絡事項等があつて午後四時閉会した。

自衛隊入隊者

大家、上村両君の壮行会行なわる

一月一一日に陸上自衛隊に入隊した大家利夫君（東土居）、上村利実君（下桃原）両君の壮行会が一月七日に役場で行なわれた。同日は三谷村長、自衛隊父兄会大豊村支部長森山茂貫氏同副支部長森正永氏、山中厚生課長らが出席して、両君の前途を激励した。

[illegible]

柔道練成所寒げいこを終る

大豊村柔道練
委員長秋山主
月に入つてから
こを行
が去る一日午後七時森下公民館長など地元有志も多数出席して、そのけいこ納めを行つた。

当夜は乱取りのみ行つたが、わずか半才の後のすばらしい所員の上達ぶりには本山警察署から来所した中山四段、町戸三段などの高段者から賞讃の言葉をもらつた程である。

電話開通

奥大田部落

電通公社では西峯、久寿軒、永淵、上桃原と村内の僻地に農村公衆電話を設置して来たが今度は奥大田部落に工費百二十万円で去る十二月二十一日設置した。呼出番号は『大田口局六一五番』となつており設置場所は奥大田分校である。

色々と不便をかこつていただけに部落民の喜びも一入であり二月末までには途中の部落である西寺内、西梶ケ内等で自己負担による加入者四名の工事も完了する予定である。

村婦人会共励会

2月27日天坪小学校で開催

大豊村婦人会では二月二十七日（金曜日）に共励会を天坪小学校で開催する。

大凡の日程は次の通り。十時半開会、午前中は愛鶏会清水講師の養鶏講話、昼食後は大豊地区農業改良普及所長横山[illegible]氏の講話と村内農業の諸問題に付き講義を受けた後「私達の暮しむきをよくするには、どうすればよいか」をテーマとして全体討議を行う、これには同普及所全所員による助言が予定されている。討議後は劇映画（題未定）が上映され午後四時半閉会する。

役場職員採用

試験は二月下旬

四月一日実施の国民健康保険事務専務員並に自然退職に伴う吏員の補充を要する為、二月下旬にその採用試験を行なう。

採用人員は約八名で受験の資格は高校卒業以上の学力を有し本年高校卒業見込みのものから満三十才迄の者となつている。

試験は一般教養及び社会問題で筆記、面接採用された新吏員には初任給五、七〇〇円が給せられる。

尚具体的には二月上旬告示の予定であるが、詳細は大豊村役場総務課に問合せのこと。